

ICF シンポジウムの報告について

1 開催概要

日 時：平成22年1月24日(日) 13:00—17:00

場 所：明治大学リバティータワー1階「リバティータワーホール」

主 催：厚生労働省

協 賛：財団法人 厚生統計協会

協 力：日本保健医療福祉連携教育学会、ソーシャルケアサービス従事者研究協議会

(社団法人日本社会福祉士会、社団法人日本医療社会事業協会、社団法人日本精神保健福祉士協会、日本ソーシャルワーカー協会)、日本介護支援専門員協会

参加者：約320名

2 シンポジウム概要

生活機能分類(ICF)専門委員 4 名による活用事例報告(医療分野、介護分野)と 2 名の指定討論者(リハビリテーション、ソーシャルワーク)を交えたパネルディスカッションをおこなった。

ICFの普及のために、今回のシンポジウムを単発で終わらせるのではなく、今後は、ICFを普及するための教育のあり方の具体的な検討やICFが果たす「共通言語」の役割の重要性を認識した異職種間の情報交換が活発化し、連携が促進されることが期待された。

【講演者・パネリスト】

国立精神・神経センター病院副院長	安 西 信 雄
国立長寿医療センター研究所生活機能賦活研究部長	大 川 弥 生
日本介護支援専門員協会会長	木 村 隆 次
千葉大学医学部附属病院地域医療連携部准教授	藤 田 伸 輔

(指定討論者)

新潟医療福祉大学医療技術学部教授	真 柄 彰
郡山市医療介護病院保健福祉等事業推進室長	島 野 光 正

司会進行：厚生労働省大臣官房統計情報部人口動態・保健統計課
 疾病傷害死因分類調査室長 瀧村 佳代

座 長：社会保障審議会統計分科会
 生活機能分類専門委員会委員長 大橋 謙策